



か・か・わ・看・護・だ・よ・り

96

平成29年1月1日

平成29年1月1日現在 会員数
7,119名

- 保 健 師 221名
- 助 産 師 263名
- 看 護 師 6,397名
- 准看護師 238名

(公社)香川県看護協会 TEL:087-864-9070 FAX:087-864-9071
<http://kagawa-kango.com>
発行責任者／中村 明美



中村学長挨拶



第33回香川県看護学会（平成28年11月27日）

《目 次》

年始のご挨拶.....	2 P
平成28年度職能委員会活動報告	3 P
第33回香川県看護学会 開催	4 P
認定看護管理者研修を受講して（ファースト・サード）	6 P
訪問看護における人材活用試行事業に参加して	6 P
受章者のご紹介.....	7 P
連載 がんばれナース 第9回	7 P
平成29年度改選役員および推薦委員、平成30年度日本看護協会代議員・予備代議員への立候補並びに推薦について.....	8 P
理事会報告／お知らせ.....	8 P





年始のご挨拶

公益社団法人 香川県看護協会

会長 中村 明美



新春のお慶びを申しあげます。

日頃のご支援、ご指導に深く感謝申しあげます。新しい年が皆さまにとって良き年でありますようご祈念申しあげます。

昨年は、新会員情報管理体制「ナースシップ」への移行に多大なるご支援、ご協力を頂き心から感謝申しあげます。

猛スピードで少子超高齢社会の様々な政策が展開されています。香川県看護協会活動も例外ではありません。

平成28年度は、日本看護協会のモデル事業として、顔の見える看護職連携活動を第4支部で取り組んでいます。限られたマンパワーで効率的な看護の提供による基本理念の達成を目指していると考えています。年末には日本看護協会からの取材もありました。また、各支部理事を中心に看護職連携活動に取り組み、施設を越えた看護チームが実現できそうです。その一環となる訪問看護出向における人材活用試行事業（日本看護協会事業）、子どもと子育て世代包括ケア推進のためのモデル事業（日本看護協会事業）、助産師出向支援事業（国庫補助事業）も進んでいます。そして、NICU・GCUを退院した子どもへの支援についての検討を始めています。まさに、地域包括ケアは、子どもから高齢者までを対象としています。皆さまの積極的な事業へのご参加に感謝申しあげます。

このような活動を促進するために、県内の病院、看護教育機関、訪問看護ステーションをつなぐICT化にも取り組みつつあります。

大きな事業である看護研修は、時代が求める一般研修とともに看護研究、認定看護管理者研修、実習指導者講習会等をさらに強化してまいります。8月3日・4日に日本看護学会学術集会—看護教育—をサンポートで開催いたします。たくさんのご応募をお待ちしています。

平成26年度に一旦まとめをした看護職のワーク・ライフ・バランスワークショップは、医療勤務環境改善支援センター（県健康福祉部医務国保課）とともに引き続いて取り組んでまいります。

新たに、全国的な活動として、看護師基礎教育4年制への制度改革活動、看護職能団体活動強化のための入会促進活動、准看護学校や准看護師の皆さまとの課題共有活動が始まります。

このように、看護協会は研修事業のみでなく、時代の要請を先取りして事業展開しています。「入会メリット」は、ともに創り出していくことを何卒ご理解いただき、看護の発展のために、少子超高齢社会が豊かで成熟した社会となるために、県内で教育した看護学生が夢と希望を持って県内で第一歩が踏み出せるために、保健師・助産師・看護師・准看護師の皆さまの入会をお待ちしております。

保健師職能委員会

保健師職能委員 坂東奈保子

新任期保健師及びプリセプターの育成を目的とした保健指導ミーティングも今年度で4年目を迎え、本年は「仲間と一緒に保健指導のスキルアップ」をメインテーマに、事例検討の手法を用いて開催しました。

まず、香川県立保健医療大学の高嶋伸子教授より、「効果的な保健指導と事例検討」と題してご講義をいただき、その後、新任期保健師4名の事例をもとに、グループで話し合いました。

参加者から、①ニーズに合った支援を行うために、対象者が主語の目標を立てる②本人の想いや価値観を知り、どうなりたいか、どうありたいかを理解する③自分の価値観で関わっていた。誰のための支援なのかを改めて考えさせられた等の感想が寄せられました。保健師の援助技術としては基本的なことですが、目の前の問題に翻弄されてしまうと見失いがちになります。今後も、自己の看護体験を積み重ねながら、各々の職場で事例検討の機会を設け、保健師ならではの支援技術を明確にしていかなければと考えています。

また、高知県看護協会保健師職能委員の方々が、「香川県の活動内容を参考にし、取り組みに活かしたい」とのこととて視察に来られました。私たちも他県の委員の方からご意見をいただき、今後の活動を行なう上で良い刺激となりました。

本研修が、各々の職場でも活かされるよう波及効果を期待しています。



助産師職能委員会

助産師職能委員長 野口 純子

助産師職能委員会では、3つの検討会（①クリニカルラダーの活用と推進②院内助産システムの普及と推進③地域と施設のネットワーク）で、活動しています。今年度の、CLoCMiPレベルⅢ認証者は12月中に承認される予定です。香川県内では、昨年度の合格者91名と合わせると120名を超えるアドバンス助産師が誕生する見込みで、自律した助産実践ができる助産師が増えることが期待されます。

また、10月9日（日）に渕元純子先生を講師に迎えて「地域で暮らす切れ目がない支援－地域と施設との連携について考え方－」というテーマで研修会を開催しました。参加者は、保健師6名と助産師28名で、「顔の見える関係づくりが大切」「妊娠中からの情報共有をお互いにしていきたい」などの意見が寄せられました。現在、三職能合同で取り組んでいる「子どもと子育て世代包括ケア推進のためのモデル事業」でも、施設と地域の連携について具体的に検討したいと考えております。



看護師職能委員会Ⅰ 病院領域

看護師職能Ⅰ委員長 白井眞奈美

看護師職能委員会Ⅰは、地域包括ケア、在宅療養支援が重要となっている中で、看護職の役割を考えるために病院と施設・地域との連携について取り組んでいます。そこで、12月4日（日）には「医療と介護の連携－顔の見える連携作り－」、12月17日（土）には、認知症ケア加算2研修受講修了者を対象に、「各施設における認知症ケアへの取り組み」というテーマで病院と施設の交流会を開催しました。第1回目の交流会は、看護師職能委員会Ⅱの協力を得て、64名の看護職の参加のもと、「病院・施設での役割や取り組みについて」の事例発表、自施設の役割と今後の課題についてグループワークを行いました。

また、2回目の交流会では、118名の参加のもと病院での取り組みの発表とグループワークを行い、情報交換と課題抽出を行いました。

今回の交流会を通じて、様々な施設の看護職が情報交換することで、自分で何ができるか、自施設の役割は何かということについて、活発な意見交換ができ、改めて情報交換の場の必要性を感じました。

今回、交流会の場で頂いたご意見や課題については、まとめて発表させていただきます。



看護師職能委員会Ⅱ 介護・福祉施設・在宅領域

看護師職能Ⅱ委員長 井上 香里

「看取りガイドライン－介護施設における看護職のために－」は、平成26年2月に看護師職能委員会Ⅱが作成し発刊しました。多くの看護職の方々にご活用いただいておりますが、「是非、多職種とともに活用できるガイドラインが欲しい」とのご意見が多数あり、このたび、ご要望に応えられる内容にするための改訂を行っています。

今年度の看取り研修は、29年1月17日(火)・24日(火)に講義と実践報告、グループワークを行います。短時間ではありますが、グループワークでは、改訂予定のガイドラインを提示することにしています。より活用しやすいガイドラインに編集したいと考えており、参加者からの忌憚のないご意見が寄せられることを期待しています。

また、2月21日は介護施設等の看護管理者を対象とした研修及び交流会を開催します。今回は、講義のほか同じ立場で働く他事業所管理者とのネットワーク作りの場となるよう企画しておりますので、多数のご参加お待ちしております。

第33回香川県看護学会を終えて

学会委員長 豊嶋 克美（香川大学医学部附属病院）

11月27日（日）第33回香川県看護学会を盛会に終えることがきました。今回の発表演題は19題、参加者総数243名でした。口演発表・示説発表の場では、活発な意見交換ができ、これは会員の皆様の看護に対する思いの賜物だと深く感謝致します。

今回のメインテーマは、「看護を紡ぐ、未来へ紡ぐ」でした。看護職は、「医療」と「生活」の両面から患者を捉え、身体と心の状態の変化を予測しながら必要なケアを提供し看護を紡ぎ、未来へ紡いでいく使命があります。特別講演において、公益社団法人日本看護協会専務理事の井伊久美子先生に「地域包括ケアシステムの構築と推進」と題して、ご講演頂き、2025年問題と超高齢社会を乗り越えていくため、地域包括ケアシステムを推進することの意義と看護師の役割について理解を深める機会となりました。また、ランチョンセミナーでは、笑いヨガティーチャーの中山美恵子先生から「笑いヨガ」を伝授して頂きました。これを機に、日々のストレス対処方法に活用して頂きたいと思います。

小雨の降る1日でしたが、皆様にとって実りある1日でしたか。学会委員会では、6月から準備を進めて学会を迎える、今後は学会誌発行に取り組んで参ります。是非、学会誌を、お手にとって頂ければ幸いです。



豊嶋学会委員長

開会式の様子



受付の様子



ランチョンセミナー

笑いヨガ

笑いヨガティーチャー
中山美恵子



平成28年11月27日

第33回 香川県

メインテーマ 看護だ

特別講演

テーマ「地域包括ケアシステムの構築と推進 ～看護職に求められる役割と活動～」

講師 公益社団法人日本看護協会専務理事 井伊久美子先生

日本看護協会専務理事 井伊久美子先生を講師にお迎えし「地域包括ケアシステムの構築と推進～看護職に求められる役割と活動～」についてご講演をいただきました。

先生は、「介護者や認知症高齢者の増加が見込まれるなか、どのような健康状態であってもその人らしい自立した生活を送り、最後まで尊厳を持って人生を全うすること。生活を重視した保健・医療・福祉制度への転換が求められている」と話され「国から県へ、県から各市町村へ、地方から地域へと地域の特性に応じて作り上げていくことが必要である」と話されました。また、新人看護師の実践能力の不足が指摘されており、基礎教育年限を4年にする必要性についても話されました。

「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」、地域での「看護」への期待が大きくなっている今日、看護職一人ひとりが今求められている役割は何か、深く考えさせられる講演でした。

広報出版委員 岡本 順子



井伊久美子先生

活発な質疑応答



口演の様子



演

PNS（パートナーシップ）体制を推進し、時間内に業務を終えて帰りましょうとお預りのかえるTシャツで力説する演者

示説の様子



「認定看護管理者教育課程」ファーストレベルを受講して

社会福祉法人財団大樹会総合病院 回生病院 柴田みゆき



ファーストレベルを受講し、「看護管理者に期待される役割マネジメント」の講義で痛感したことは、組織を円滑にしていくためのマネジメント力が私には足りていなかったという事です。ソーシャルスタイル診断で自分の性格を分析し、「偏愛マップ」を作成してお互いに趣味を語り、コミュニケーションスキルを磨きました。リーダーシップの大切さを学び、他病院の現状や貴重な経験も聞き、学びを深めることができました。色々な講師の講義を受け、演習や課題レポートで振り返りを行ったことで、マネジメント力について少し理解できるようになりました。

今後は学んだことを活かし、看護スタッフの専門性が發揮できる職場環境作りを行います。また、看護サービスの質の確保と向上を目標に、自らが模範を示して、学ぼうとする人材を育成します。目標達成に向けて自己主導的学習も行っていこうと思っています。

ファーストレベルの仲間とのつながりを励みに、取り組んでいきたいと考えています。

「認定看護管理者教育課程」サードレベルを受講して

国立大学法人香川大学医学部附属病院 阿部 慈

私は、香川県看護協会で開講された認定看護管理者教育課程サードレベル研修を受講しました。研修期間は7月から12月までの半年間で、香川県内のみならず、中国・四国地区の22施設から29名の看護管理者が研修を受講していました。サードレベル研修では、看護管理に必要な最新の知識を系統的に学習しつつ、「自施設のあるべき姿は何か」、「トップマネージャーとして何が求められるか」という課題に真摯に向き合い、講義と演習の中で情報を共有しながら、学びを深めることができました。また、看護管理者として学習し続けることの必要性と、新たな知見を得ることの「おもしろさ」を再認識できる貴重な時間となりました。そして、29名の研修生との出会いは、看護管理者同士のネットワークとなり、共に学び、励まし合うことのできる生涯の宝物になると確信しています。

今後は、看護管理者として看護の発展のために尽力し、平成29年度には認定看護管理者となるよう、日々研鑽していきたいと思います。



訪問看護における人材活用試行事業に参加して

独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院 岩田 尚子



香川労災病院からまるがめ訪問看護ステーションに出向し、3か月目を迎えました。当初は在宅で看護を提供することができませんでしたが、利用者・介護者の身体的および経済的負担が少ないように創意工夫された看護ケアの提供に感銘を受けました。現在は単独訪問を行うようになり、利用者と家族の状況や変化を捉え、次回訪問まで利用者と家族が安心して過ごすことができるための援助とは何かを考えながら行動しています。訪問を繰り返す中で、訪問日は点であるが、継続して訪問することで線となり、1回毎の看護がつながっていくことを実感しています。そして訪問看護師は医学的視点を踏まえたアセスメントと判断のもとでQOLの維持・向上に貢献していることを学びました。

本モデル事業を通して、今までと違う立場から地域包括ケアの実際を知ることができ、地域医療を支える多職種の顔が見えるようになりました。また院外に出たことで、看護師としての視野が広がると同時に自院の現状と課題を見出すことにもつながっています。今回得た貴重な経験と学びを糧に、地域包括ケアの充実および自院の地域連携の強化に尽力していきたいと思います。

受章者のご紹介

平成28年度

受章おめでとうございます。永年のご活躍に敬意を表し、心よりお祝い申しあげます。

叙 納

瑞宝単光章

元内海病院看護部長

湯川千代子 様



連載 がんばれナース 第9回

キラキラナース紹介

私のリフレッシュ法

麻田総合病院 (M. Y.)



家庭と職場の往復のみの生活でしたが、子育ても一段落し、そろそろ老後に備えて何か趣味を見つけなくてはと思い、50歳台半ばから色々な趣味に挑戦しました。飽き性の私が社交ダンスにはまり早9年になります。金スマでご覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、キンタローがTVに出ていた「あれ」です。私も競技大会出場を目標に日々練習しています。週に4～5日まるで部活のように、仕事を終えると練習場にまっしぐら。練習場には私以上にストイックに練習に打ち込んでいるリーダー（お相手の男性の呼称です）がいます。また、同じダンス好きの仲間が待っています。練習の合間のお茶の時間とおしゃべりも楽しいひと時です。仕事の垣根を越えて、また、リタイアされた方も沢山おられます。上級になればなるほど奥深く、頭を使い、体を使い（認知症予防にいいかも）そして集大成の競技会は、非常識的で刺激的です。煌びやかな衣装を身にまとい、いかに審査員の目を引くか（遠目は若いですが、妖怪の世界かも）。結果に一喜一憂しながら明日からの仕事の原動力にしています。

フラダンスでリフレッシュ

四国こどもとおとなの医療センター看護師、保育士、看護学校の教員の集まり

GCU 香川 亮子

7年前に「善通寺ホオキバ」というフランダンスチームを結成しました。チーム名の意味は、「おもてなし」です。看護に携わる私たちにとって、とても大切で欠かせない気持ちをチーム名にしました。転勤などで初期からのメンバーは少ないですが、毎年新しいメンバーが集まるため7～15名の人数で月4回、夕方6時30分ごろから練習しています。

穏やかで柔らかい動きをするためインナーマッスルが鍛えられ体が引き締まり、また、心が癒されリフレッシュしています。不規則な仕事のため全員がそろって練習できることは少ないですが、いつも優しく笑顔が素敵な先生を中心に、和気あいあいと取り組んでいます。

ダンスのお披露目は、毎年春にあるフラダンス教室の発表会、病院懇親会などの行事、養護学校の盆踊りなどで行っています。踊りは未熟ですが、毎回、みんな笑顔で心を込めて踊っています。これからも、仲良く、楽しく、元気に続けていきたいと思います。



理事会報告

●協議事項

第5回 平成28年12月10日(土) 9:40~12:45

1. 平成28年度第2四半期会計報告、監査報告(案)(承認)
2. 平成29年度重点事業(案)について(承認)
3. 平成29年度教育計画(案)(承認)
4. 平成29年度行事予定(案)(承認)
 - 1) 平成29年度理事会、監査等の開催日(案)(承認)
 - 2) 平成29年度「看護の日・看護週間」5月14日(日)13時開始(案)(承認)
 - 3) 平成29年度「定期総会」6月11日(日)12時30分開始(案)(承認)
5. 収支相償成立への取り組みについて
 - 1) 平成27年度決算書類の修正(案)(承認)
 - 2) 事務局常勤職員の給料改善(案)(承認)

- 3) 備品整備・修繕等の支出計画(案)(承認)
- 4) 空調設備(補助金を含む)更新の経緯(承認)
6. NICU/GCU退院児とその家族への在宅支援-小児発達支援事業(案)(承認)
7. みちしるべの増改築(案)(承認)
8. 平成28年度認定看護管理者教育課程フォーストレベル修了審査(案)(承認)
9. 平成30年~平成35年認定看護管理者教育課程開催計画(案)(承認)
10. 平成29年度(30年1月開催)香川県看護学会運営について(案)(承認)
11. 再加入者の会館維持管理費(案)(承認)

平成29年度改選役員および推薦委員、平成30年度日本看護協会代議員・予備代議員への立候補並びに推薦について

選挙管理委員会・推薦委員会からのお知らせ

平成29年6月11日(日)に開催される定期総会において、平成29年度改選役員および推薦委員、平成30年度日本看護協会代議員・予備代議員の選挙を実施します。立候補並びに推薦の受付期間などについてお知らせします。

なお、役員辞任に伴う追加公示はホームページで行います。

■改選人数と役職名

- | | | | |
|--|----------------------------|------------|---------------------|
| 1. 役員 11名 | 会長候補者 1名 | 常任理事候補者 3名 | 職能理事候補者 2名(保健師、看護師) |
| | 地区支部理事候補者 4名(第1、第5、第6、全支部) | | 監事候補 1名 |
| 2. 推薦委員 3名 | | | |
| 3. 代議員 7名(保健師1名、助産師1名、看護師4名、准看護師1名) | | | |
| 4. 予備代議員 10名(保健師2名、助産師2名、看護師4名、准看護師2名) | | | |

■受付期間など

立候補される方は、会員10名以上の推薦(定款細則第7条1項)を受けて、届出用紙を選挙管理委員長あてに届け出してください(郵送可)。

推薦を行う場合は、所定の用紙に記入のうえ推薦委員長あてに届け出してください(郵送可)。

届出用紙は香川県看護協会にお問い合わせください。

[送付先] 〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分152-4

香川県看護協会選挙管理委員長宛(親展)または推薦委員長宛(親展)

[提出締切日] 平成29年3月1日(水)*当日消印有効



(詳細については後日お知らせします)

1 公益社団法人日本看護協会 坂本すが会長講演の開催!!

- ・日時: 平成29年2月18日(土) 14:10~15:40
- ・場所: 公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター
- ・仮題: 「看護の課題と展望」

2 「看護代表者協議会」の開催!!

- ・日時: 平成29年2月18日(土) 15:50~17:00
- ・場所: 公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター

3 看護職が働き続けられる職場づくり推進活動(労働環境改善)について

- ①「看護職のワーク・バランス・フォーローアップワークショップ」開催!!
 - ・日時: 平成29年2月18日(土) 13:00~14:00
 - ・場所: 公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター
- ②「夜勤・交代制勤務環境改善フォーラム」開催!!
 - ・日時: 平成29年3月4日(土) 13:30~16:00
 - ・場所: 公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター

4 就職フェアのご案内

- ・日時: 平成29年2月15日(水) 13:20~16:00
- ・場所: 公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター

5 病院の代表者の皆さま、DiNQLに参加しませんか!!

6 会員福利について

- ・JR端岡駅に自転車を3台預けています。



《使用方法》:

自転車を利用する場合は100円の負担をお願いします。
鍵の番号は使用時に看護協会にお尋ねください。
ご利用の際には、協会事務局で簡単な利用記載をお願いします。

7 理事会決議に関するこ

- 1) 入会促進事業を展開します。
- 2) 児童発達支援事業(予定)準備に伴う看護師2名・保育士1名・OTまたはPT1名募集!
開設場所: 高松市伏石町 高松訪問看護ステーション1階
開設時期: 平成29年10月(予定)
準備のため看護師は4月頃からの勤務を希望します。
- 3) みちしるべ(看護小規模多機能型居宅介護事業所)の増改築に取り掛かります。
※個室を増やし、療養環境を良くします。どうぞご利用ください。

8 看護教育「第48回(平成29年度)日本看護学会開催!!演題募集します。

テマ: 環境変化に対応する看護教育~人材の能力を見極め引き出す~
演題登録期間: 平成29年2月1日~3月6日12時まで
詳細については日本看護協会ホームページをご覧ください。

編集後記

あけましておめでとうございます。
今年は酉年。皆さまが未来に向かって羽ばたけるような年になりますように願っています。
今年も、会員の皆さまに興味・関心をもって頂ける情報をお届けしたいと思います。ご意見・ご要望・表紙写真をお寄せくださいよう宜しくお願いします。